

懐かしい手作り

新座市立池田小6年

岸本 彩葉 12 (新座市)

片付けをしている母の方を見て、「あっ、懐かしい」と声を上げた私。その視線の先にあったのは、コロナが流行っていた一年生の頃に使っていた母の手作りマスクでした。

当時の私は不織布マスクが好きじゃなかったというのもあるけど、そもそもマスクがお店から姿を消して手に入りませんでした。そこで母は花やリボンなどかわいい柄でマスクを作り、内側の素材も工夫してくれました。不織布マスクよりも好きだったし、色んな友達が「かわいい」と言ってくれたのも誇りでした。

懐かしいと言いながら、久しぶりに手作りマスクをつけてみると、とても小さくなっている、今にも紐がちぎれそうでした。

「すごく小さくなってる。」
「彩葉が大きくなっただんだね。」お互い笑顔になりました。

世界に一つだけの母の手作りマスク。もう使うことはできなけれど、棚の奥に大切にしまっておこうかな。